

平成25年6月26日

河内長野市
南海電気鉄道株式会社
大阪府立大学

河内長野市、南海電鉄、大阪府立大学の連携による 沿線価値の向上に向けた新たな試み

「大阪ミナミ・難波から河内長野市の魅力を発信する企画展を開催」

河内長野市（市長：芝田啓治）、南海電鉄（社長：亘信二）、大阪府立大学（理事長・学長：奥野武俊）は、現在、まちづくりの分野などで協定を結んでいます。この度、三者が連携して、「なんば発、河内長野行き。～かわちながの魅力発信展」を「I-site なんば」にて開催します。

これは、大阪ミナミ・難波を舞台に、これまでの行政のPRとは異なり、地域のヒト、モノ、コトに焦点をあてた河内長野市の「強み」を「展示」という形で表現することで、新たな魅力発信につなげようとするものです。

河内長野市としては、本市の魅力を大阪ミナミの難波からアピールすることで、本市に興味を持っていただくとともに、「まちライブラリー@大阪府立大学」の基本コンセプトである「顔の見える関係」を意識した展示を通して、新たな人のつながりを創ることにより本市の活性化につなげていきたいと考えています。

また、南海電鉄としても、本取り組みが沿線価値の向上に資することで、沿線の魅力アップにつながると期待しています。

さらに、南海沿線に位置する大阪府立大学は、教育研究の成果を地域や社会に還元する知的活動拠点として平成25年4月にオープンした「I-site なんば」の新たな可能性を模索したいと考えています。

実施の詳細は下記の通りですが、期間中は展示に関係するヒトをゲストスピーカーに招き交流を図るなどの取り組みも実施予定です。

このように、本事業は、沿線価値の向上に向け、三者それぞれの思いを重ね合わせた新たな試みとして開催するものです。

実施期間・場所

期間：平成25年7月1日（月）～31日（水）9：00～21：00（日・祝 ～17:00）

場所：I-site なんば内 2階部分

大阪市浪速区敷津東2丁目1-41 南海なんば第1ビル

主催：河内長野市（共催：南海電鉄 協力：大阪府立大学）

企画：「まちライブラリー@大阪府立大学」

入場：無料

